

民俗・文学

まちづくり

地方自治・政策

青森大学 社会学部

観光

環境問題

あなたはどの視点から地域を学びますか？

青森大学社会学部で学ぶことを通じて、

日常生活における様々なことについて、

これまでとは異なる、新しい発見をすることでしょう。

まずは、皆さんが今一番、興味・関心を抱いている問題について、

私たち社会学部の教員たちと一緒に

考え、悩み、解決の糸口をさがすことを始めませんか？

日々の生活の課題や、私たちが住まう「街」や「地域」の課題だけではなく、

そこから「日本」や「世界」という

大きな領域までつなげることも試みましょう。

社会福祉

住民活動・地域活性化

2021年度社会学部卒業生就職内定率100%!

2022年3月に社会学部を卒業した学生で就職希望者は、おかげさまをもちまして100%内定を得ることができました。就職先は青森県内外さまざまですが、社会学部卒業生は、地域を学び地域に貢献できる人材として活躍しています。2021年度の主な就職内定先は以下の通りです。

主な就職先

- 津軽海峡フェリー(株) ○(株)みちのく銀行 ○(株)青森銀行 ○センコー(株) ○西濃運輸(株)
- 東和電材(株) ○社会福祉法人青森県社会福祉協議会 ○トヨタモビリティパーツ(株) ○青森日野自動車(株)
- 医療法人青仁会 ○社会福祉法人七峰会 ○埼玉県庁(福祉職) ○(株)薬王堂 他多数

社会学部でのゼミ活動の一部をご紹介します！

青森大学 社会学部ゼミ活動紹介

Faculty of Sociology

01

飛内 文代ゼミ

2年生飛内ゼミは、文学から地域を知るための活動をしています。「青森市内文学散歩」をテーマとし、この日は青森市駅前から青森市本町界隈の、文学作品に登場する施設・作家にゆかりの地・文学碑などを訪ね(フィールドワーク)、実際に体験することを通して、地域の文学や魅力について理解を深めました。



辻 英之ゼミ (東京キャンパス)

東京キャンパスの3年辻ゼミは全員留学生(中国、ベトナム)。国際色豊かな雰囲気で行われるゼミの特色は、演習(フィールドワーク)形式を多用することです。今年はいくつかの長野県のNPOや千葉県の子供養護施設において演習を実施しました。また、東京キャンパス内の土地を開墾して野菜作りを行い(キャンパスファーム)、循環型社会を足元から構築する意識を醸成しています。



鈴木 康弘ゼミ

7月16日(土)、青森市浪岡で「夏のドローン体験イベント」を開催します！

鈴木ゼミでは、昨年度から障がい者とのオンライン交流を始め、障がい者の就労の難しさを実感していました。近い将来、ドローンの操縦は免許制になるといわれています。青森市のドローンスクール「GAP150」を訪問した際、「障がい者がドローンで仕事ができる時代が来る」というお話を伺い、すぐにこのイベントの企画を進めました。ゼミ生たちは「ドローンが障がい者の就労が広がれば」と願って、今回は、障がい者に多様な「学び」を提供している自立訓練(生活訓練)事業所「BaDeYa(バーディア)」と一緒に開催します。

当日は、地域の障がい者と一般の方々に最新のドローンに触れていただき、障がい者の就労とドローンとの新しい可能性を語り合う予定です。ゼミ生たちは、7月16日の成功を目指して、市民センター等の公共機関や鉄道の駅、スーパーやドラッグストア、郵便局、コンビニなどに、ポスター掲示とチラシ配置の交渉に歩いています。



工藤 雅世ゼミ



AI(人工知能)時代を生き抜く。一度切りのかげがえのない人生を心豊かに生きる。そのために、人間ならではの能力を養う。これが、工藤ゼミの目的と目標です。

具体的には、アイデア生産能力を高めるために想像力・創造力を養うことからスタートします。マインド・マップという方法を使ってブレイン・ストーミング(アイデアを生産する方法)の訓練。その成果に基づき、地域の問題を発見し解決策を見出して報告書作成をします。作文技術も、きっちり身につけることを目指しています。

問題発見には、状況の意味を理解することが必要です。解決策を見出すためには異なる要素を組み合わせることも必要です。いずれも現在、AIにはない能力です。「あ～、何だか面白かった！何だかできそう」と、ゼミ終了時に感じていただければ、と願い、ゼミ運営をしています。